

産業技術総合研究所

地質調査総合センター

Geological Survey of Japan, AIST



アンモナイト

Ammonite

学名

Tropaeum sp. [トロペウム的一种]

時代

中生代白亜紀前期 [約1億2000万年前]

産地

オーストラリア キーンズランド州

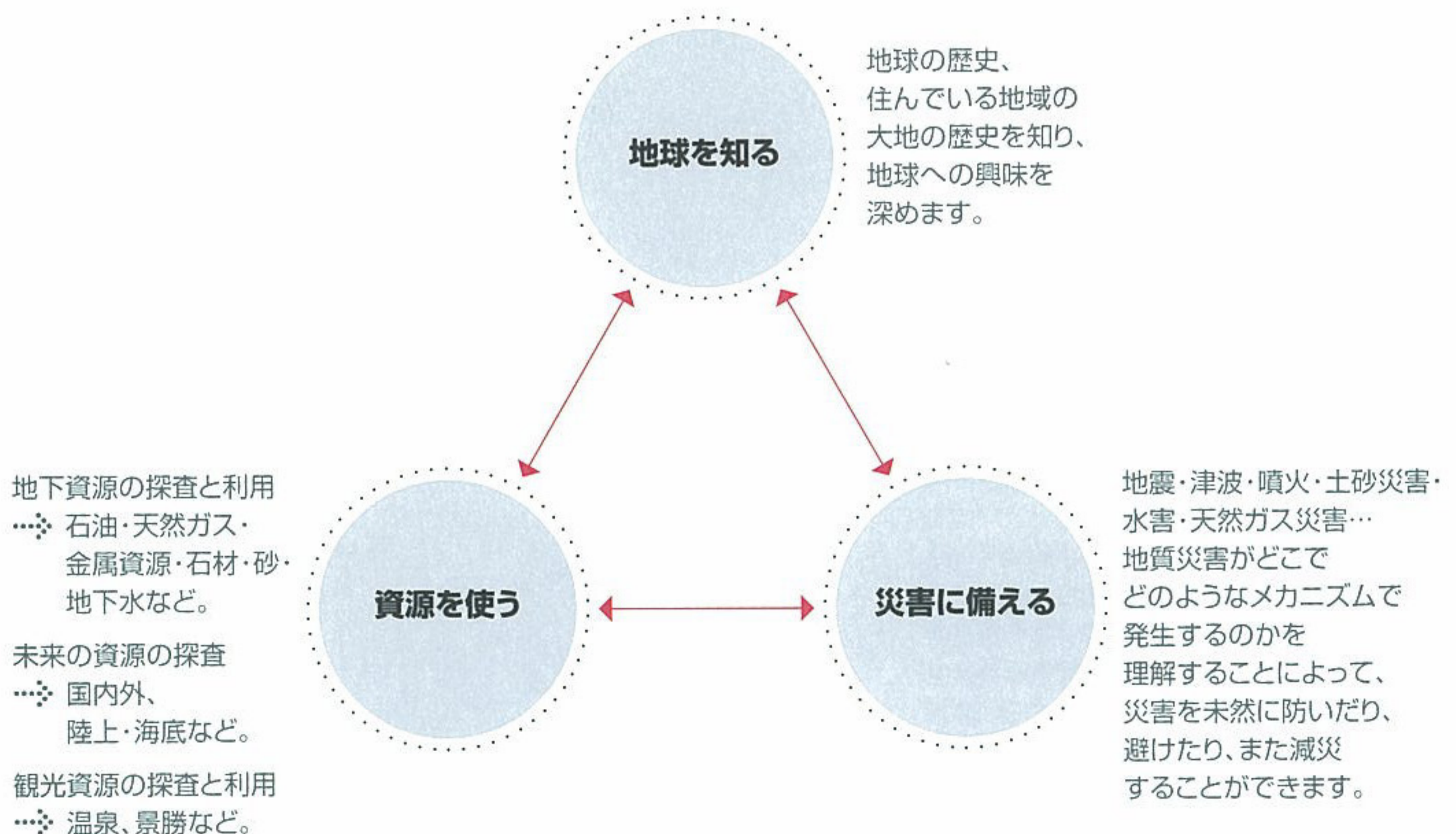
イカ・タコ・オウムガイの仲間、
軟体動物の頭足類に属します。
古生代デボン紀 [約4億年前] に出現し、
中生代白亜紀末 [約6500万年前] に
絶滅しました。その生活様式は
生きている化石である現生のオウムガイに
似ていたと考えられています。
地質標本館登録標本 [GSJ F16757]。
ほぼ実物大。

地球のプロフィールを調べています。

いつ生まれたの？ どんな生いたちなの？ どんなことを経験してきたの？ 私たちの生活を支える大地には、地球についての情報がたくさん隠されています。この大地を詳しく調べ、もっと地球を知ることで、地球の未来と私たちの進むべき方向を指し示すことができます。地質調査総合センターは、地球のプロフィールを探る、専門調査機関です。

「地質」は、大地に刻まれた地球の記憶。

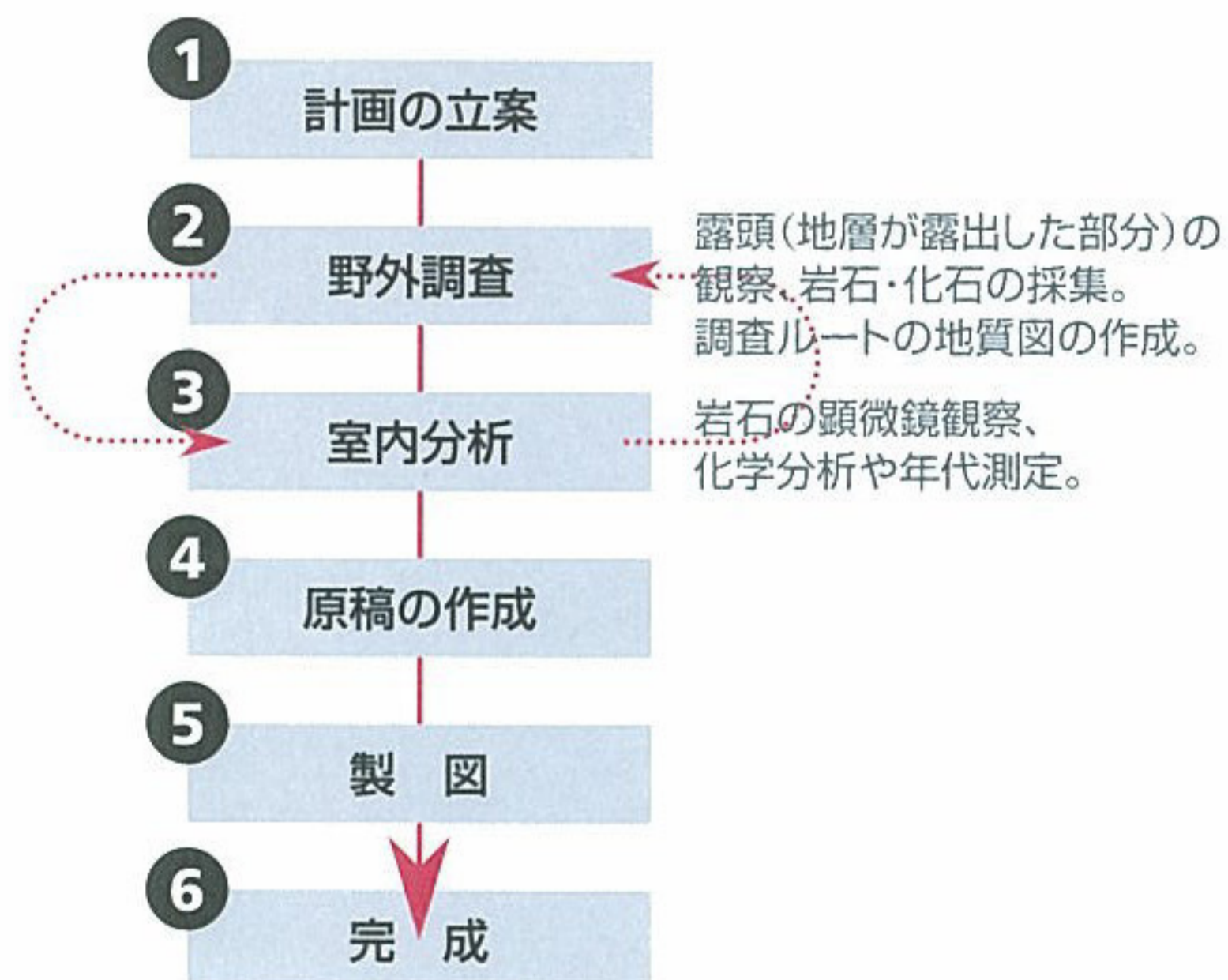
地球を一度めくったと想像してください。その下に広がる地層には、地球の過去から現在に至るまでの、いろいろな情報がつまっています。「地質」とは、大地の総合的な情報のこと。地質を調べることで、私たちは地球を知り、地球と共生する未来をつくっていくことができます。



「地質の調査」は、アナログとデジタルの連携プレー。

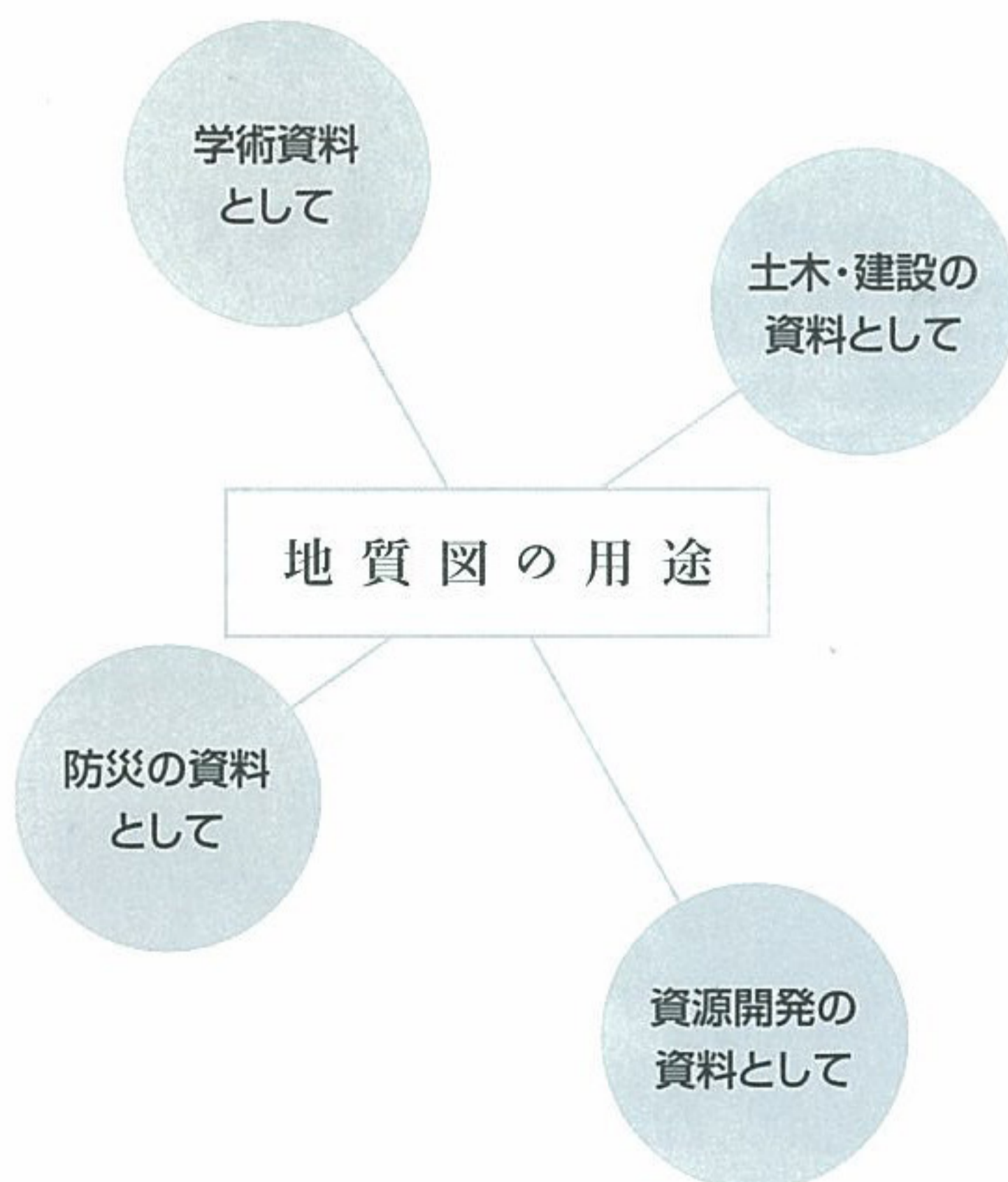
地質調査は、現地で実際に地層を調べることが基本。野外調査ではあらゆる道具を駆使して、地表や地下にひろがる地層の構造や構成する物質をしらべます。また、調査で採取された試料は、化学分析・物性試験・化石鑑定などさまざまな角度から分析されます。それぞれの専門家のチームワークによって有機的に組み合わされた野外調査と室内分析を重ねることで、はじめて地球の姿が明らかになります。

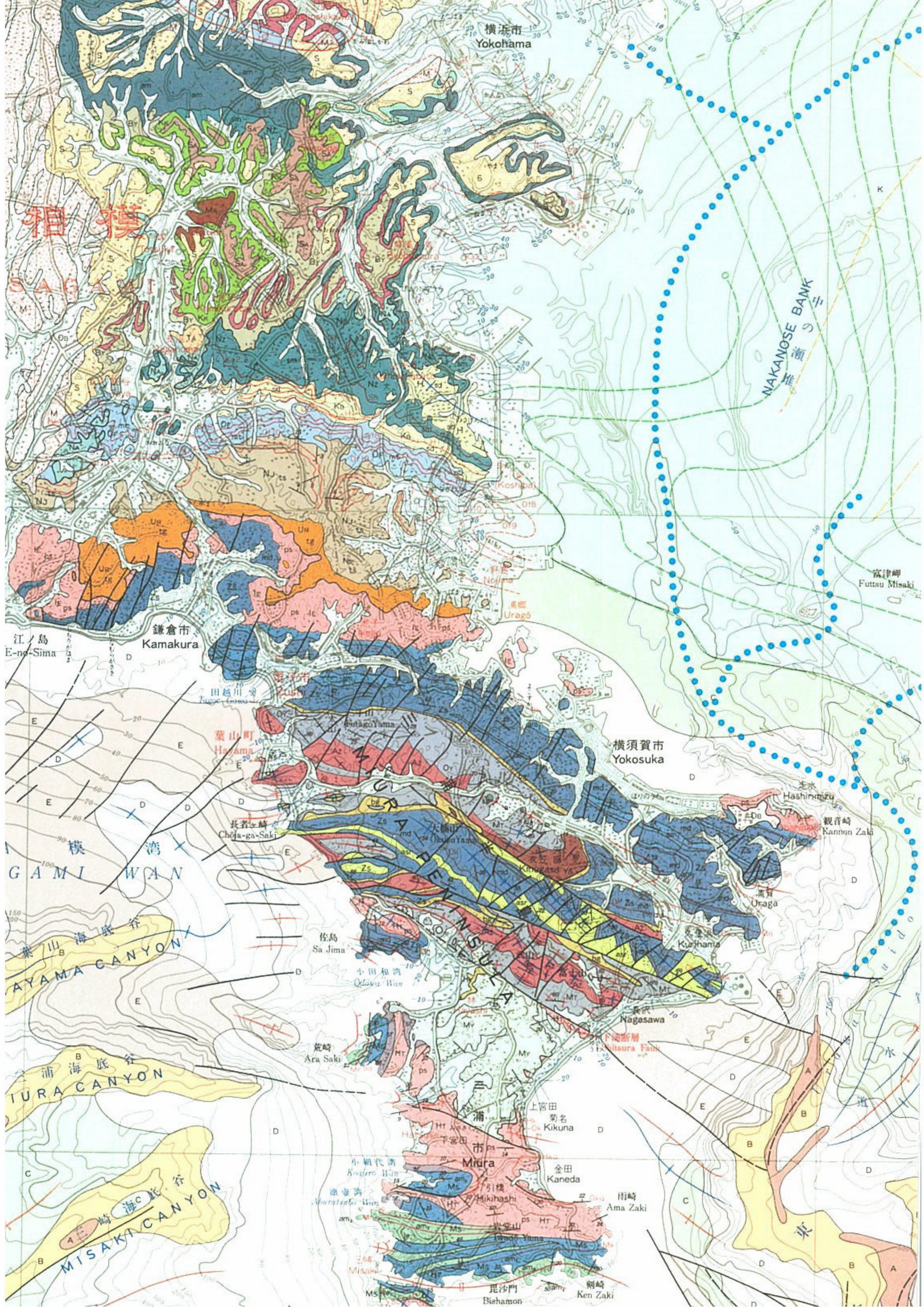
地質図のできるまで



「地質図」は、地球の履歴書。

地質図は、社会のさまざまなところで、地球の基本情報として使われています。特に資源開発、防災、土木・建設、地球環境対策などにとって、不可欠な基礎資料です。また日本列島の成り立ちを探るための、学術資料としても活用されます。





横浜市
Yokohama

相模
SAGAMI

中瀬原
NAKANOSE BANK

江ノ島
E-no-Sima
鎌倉市
Kamakura

田越川
Togoyama

葉山町
Hojama

横浜須賀市
Yokosuka

相模湾
SAGAMI WAN

相模海峽
SAGAMI CANYON

浦海峽
IURA CANYON

三崎海峽
MISAKI CANYON

佐島
Sa Jima

小田和湾
Odaura Wan

荒崎
Ara Saki

浦
Ura

小瀬代湾
Kosuro Wan

瀬谷湾
Seyu Wan

三崎
Misaki

毘沙門
Bishamon

上宮田
Umiya

菊名
Kikuna

金田
Kaneda

引橋
Hikihashi

岩山
Iwano Yama

長沢
Nagasawa

下瀬原
Shimosetsumura

上宮田
Umiya

菊名
Kikuna

金田
Kaneda

引橋
Hikihashi

岩山
Iwano Yama

三崎
Misaki

雨崎
Ama Zaki

雨崎
Ama Zaki

雨崎
Ama Zaki

雨崎
Ama Zaki

雨崎
Ama Zaki

雨崎
Ama Zaki

浦
Ura

浦
Ura

浦
Ura

浦
Ura

浦
Ura

浦
Ura

富津岬
Futtsu Misaki

観音崎
Kannon Zaki

水
Mizu

道
Michi

水
Mizu

道
Michi

水
Mizu

道
Michi

水
Mizu

産業技術総合研究所
地質調査総合センター

—
305-8567

茨城県つくば市東1-1-1

産総研 第7事業所

Tel.029-861-9122

Fax.029-861-3672

E-mail:secr@gsj.jp

www.gsj.jp